1 . 序 言

平成16年4月、自然科学研究機構がスタートしました。新たなる組織を順調な軌道に乗せるために、また、新しい自然科学の発展を目指して、組織構成員全員が懸命に努力をしているところです。今世紀、新しい科学の流れを日本から発信出来る様にする為にも、独自の哲学を持って臥薪嘗胆、努力していかねばなりません。分子科学研究所の役割にも大きなものがあります。

分子研レポートは、研究所の現状と評価、そして将来計画等の議論を纏めて毎年発行しているものです。これを見れば、分子科学研究所の全貌が理解できる様に企画されております。伊藤元所長の時代に世間に先駆けて外部の先生方による評価を率先して行い、それを公表・掲載してきております。今年度は、4 研究施設に関する評価を実施しました。この様な活動は、研究所の将来の更なる発展のための糧として重要な役割を果たしています。評価に当たられた諸先生方にはこの場を借りて、改めて心よりお礼申し上げます。

また、今回は、法人としての中期目標・中期計画、及び年度計画に対応した章を新たに設けました。平成16年度の年度計画に対応して分子研が行ってきた活動のまとめが掲載されています。世界における分子科学のCOEとして更なる発展を期するために、各方面の方々のなお一層のご支援を心よりお願い申し上げます。

平成17年 1 月
自然科学研究機構
分子科学研究所 所長
中村宏樹